

A 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| A | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | ○ | ○ | ● | ○ | ○ |

(3と解答する場合)

I . 次の文1～8を読み、下記の設問A～Dに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 地質学でいう第四紀は、およそ1万年余り前を境に2つに区分される。このうち（イ）は氷河時代とも呼ばれ、寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期が交互に繰り返して訪れた。最後の氷期が過ぎると海面が上昇し、ほぼ現在に近い日本列島が成立した。人類は猿人・原人・旧人・新人の順に出現したことが知られるが、日本列島で発見された化石人骨は、静岡県で発見されたくあ＞など、いずれも新人段階のものである。
2. 紀元前6500～5500年ごろ、中国大陸で農耕がおこったとされる。こうした農耕文化の発達は周辺地域に影響を及ぼし、朝鮮半島などを経て日本列島にも波及した。縄文時代の終わり頃、およそ2500年前に朝鮮半島に近い九州北部で水稲耕作が開始され、日本列島の大部分の地域は農耕による食料生産の段階へと入った。やがて蓄積された余剰生産物をめぐって「戦いの時代」に入り、強力な集落は周辺のいくつかの集落を統合し、各地に政治的なまとまりが分立していった。直径40m余りの円形の墳丘の両側に突出部を持つ岡山県の（ロ）墳丘墓の被葬者は、こうした小国の王であろうと推測されている。いっぽう、北海道や南西諸島では食料採取文化が続いたと考えられており、南西諸島のそれは（ハ）文化と呼ばれる。
3. 3世紀中頃から後半になると、墳形や埋葬施設・副葬品に画一的な特徴をもつ大規模な墳墓が出現した。その背景には、前代よりも広域な政治連合が形成されたことが推定される。4世紀後半から5世紀後半にかけては、大阪平野に大型の古墳が集中して築造された。そのうち（ニ）古墳群の中心である大仙陵古墳は、当時の倭王の墳墓と考えられている。このころの倭の状況を記した中国の歴史書であるくい＞によれば、倭王は中国の南朝に上表し、高句麗と対抗して朝鮮半島南部の軍事支配権を得ようとしていた。大阪平野に大型の古墳が集中しているのは、ここが朝鮮半島・中国大陸への航路の起点であったためと考えられる。
4. 倭の王権は、朝鮮半島・中国大陸から渡来した人々の先進的な知識や技術を、自らの権力の強化に利用しようとした。王仁は『千字文』などを伝えて文筆・出納に従事し、くう＞の祖となつたとされる。仏教の学問・思想も、朝鮮半島を経て受容したと考えられている。6世紀末には奈良盆地の南部に大王の王宮が営まれ、7世紀前半には朝鮮半島や中国、西アジア・インド・ギリシャともつながる仏教中心の文化¹⁾が起こった。

5. 6世紀の末に隋が中国を統一すると、国際的な緊張のなかで、東アジア諸国は中央集権の確立の必要にせまられた。隋が滅び唐の時代になると、倭でも中央集権をめざして乙巳の変が起こり、(ホ)天皇が譲位して新政権が成立した。唐・新羅の軍事行動によって660年に百済が滅ぶと、倭は百済復興を支援するために軍を送ったが、663年に白村江²⁾の戦いで大敗した。このような東アジア国際情勢を背景として、朝鮮半島との人の往来は活発で、倭の政治制度・文化に大きな影響を与えた。中国由来の帳簿によって人々を管理する方法も、前代から続く朝鮮半島・日本列島間の頻繁な交流によってもたらされたと考えられる。
6. やがて中国の東北部では、靺鞨族や旧高句麗人を中心に(ヘ)が建国された。(ヘ)は、727年に日本に使節を派遣して国交を求めた。一方で、国力を充実させた新羅と日本には、しばしば緊張が生じた。とくに758年、唐で安祿山の乱(安史の乱)が起きたとの報が日本にもたらされると、翌年、<エ>は新羅攻撃の準備をはじめさせた。奈良の大寺院ではさまざまな仏教理論の研究が進められ、南都六宗と呼ばれる学系が形成された。このうち(ト)宗の良弁は唐・新羅の僧から(ト)を学び、東大寺建立に活躍した。8世紀末になると新羅からの使節の来日はなくなるが、新羅の商人が来航するようになり、やがて唐の商人も頻繁に来航するようになった。<オ>は、これらの商人の貿易船も利用して、天台教学・密教を学ぶために入唐・帰国し、旅の記録として『入唐求法巡礼行記』を著した。
7. 中国では907年に唐が滅んで諸王朝が分裂したが、やがて<カ>によって再統一された。朝鮮半島でも10世紀初めに(チ)がおこり、やがて新羅を滅ぼして朝鮮半島を統一した。中国東北部にあった(ヘ)も契丹に滅ぼされた。日本は(チ)や契丹と国交を開かなかったが、(チ)とのあいだには商人などの往来があった。11世紀後半以降、日本と<カ>・(チ)とのあいだで商船の往来が活発となり、12世紀になるとさらに活発な貿易が行われた。これに応じて、平清盛は大輪田泊³⁾を修築し、貿易を推進した。
8. 1392年、朝鮮半島では李成桂が(チ)を倒して新しい国を建て、日本との間に国交が開かれて、さかんに貿易が行われた。日本が輸入したのものには、人々の生活様式に大きな影響を与えるものもあった。しかしこの貿易は、1510年に(リ)の乱がおこってから、しだいに衰えていった。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所〈あ〉～〈か〉にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|----------|
| 〈あ〉 | a. 明石人 | b. 浜北人 | c. 港川人 | d. 山下町洞人 |
| 〈い〉 | a. 漢書 | b. 後漢書 | c. 三国志 | d. 宋書 |
| 〈う〉 | a. 西文氏 | b. 蘇我氏 | c. 秦氏 | d. 東漢氏 |
| 〈え〉 | a. 橘諸兄 | b. 道鏡 | c. 長屋王 | d. 藤原仲麻呂 |
| 〈お〉 | a. 円仁 | b. 空海 | c. 最澄 | d. 成尋 |
| 〈か〉 | a. 元 | b. 清 | c. 宋 | d. 明 |

C. 文中の下線部 1)～3) にそれぞれ対応する次の問 1～3 に答えよ。解答はそれぞれ対応する a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この文化の美術作品はどれか。

a.



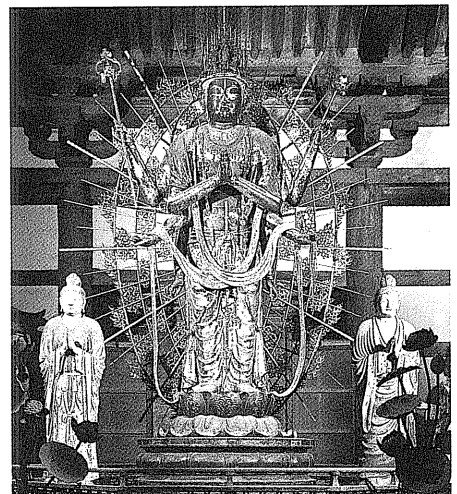
b.



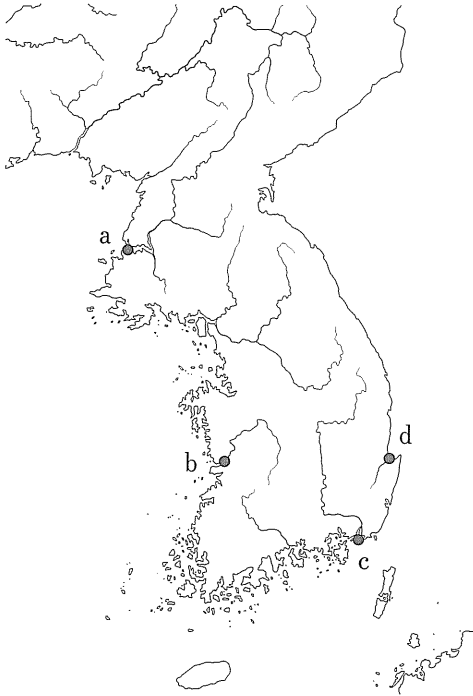
c.



d.



2. これが行われた場所はどれか。



3. これはどれか。



D. 文中の下線部 に関連して次に示すのは、721年に作成された下総国の戸籍の一部である（史料は一部改変してある）。これによれば、この戸には、これまで班給されていた口分田に加えて、新たに口分田が班給されることになる。この、新たに班給される口分田の面積は何段何歩か。養老令の規定によって算出せよ。ただし、口分田の収公はなく、土地の広狭は考慮しないこととする。

戸主^{あなほべ}孔王部佐留，年四十七歳，

母孔王部呼弓売，年七十三歳，耆女

妻孔王部若大根売，年三十七歳，丁妻

^{注1} 男孔王部古麻呂，年十五歳，小子，嫡子

男孔王部麻麻呂，年十二歳，小子，嫡弟

男孔王部勝，年九歳，小子

男孔王部小勝，年七歳，小子

^{注2} 女孔王部与佐売，年二十二歳，丁女

女孔王部真黒売，年十二歳，小子

女孔王部小黒売，年七歳，小子

弟孔王部徳太理，年三十一歳，正丁，兵士

男孔王部古麻呂，年七歳，小子

弟孔王部小足，年二十七歳，正丁

妹孔王部小宮女，年四十四歳，丁女

注) 1. 男：息子の意

2. 女：娘の意

Ⅱ。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

日本では、江戸時代にはすでに広く絹や綿の生産が行われていた。幕末期の1858年、幕府はロシアなど数カ国とそれぞれ修好通商条約を結んだ。これを総称して（イ）という。これらの条約を機に、日本は横浜をはじめとする開港場を拠点とした貿易を通じて世界経済の中に組み込まれ、国内には様々な変化がもたらされた。貿易においては生糸に大きな需要が生じ、重要な外貨獲得の手段になっていった。

明治時代には、土地・納税制度の改革や封建的身分制度の撤廃を通じ、財政の安定と自由な経済活動のための基盤づくりが政府により進められた。政府は鉄道の敷設や、鉱山、造船所、炭坑といった官営事業の経営を始めた。1873年に設置された内務省は、富岡製糸場をはじめとする官営模範工場を運営し、製糸業・紡績業など軽工業部門の振興を目指した。農業においても西欧の技術が導入され、1877年に開業した（ロ）は、輸入種苗・農具を用いた実験を行なった。

海外向けの生糸の需要により、農村では桑の栽培や養蚕が盛んになっていた。また、日清戦争後には器械製糸による生産が手動装置を用いた座繰製糸による生産を上回り、やがてアメリカを中心に輸出がのびた。

他方で綿業は、開国後、安価な外国製綿製品流入の影響で衰退していた。しかし、輸入綿糸と手織機を用いた問屋制家内工業により、綿織物業は徐々に上向いた。紡績業については、（ハ）が発明し、第1回内国勸業博覧会に出品されたガラ紡の改良版が普及したが、1882年に渋沢栄一らが大阪紡績会社を設立し、その後、1万錘の大規模経営を始めると、紡績会社の設立が相次ぎ、綿糸の機械制生産が発展した。

1895年、日本が日清戦争に勝利すると、日本全権伊藤博文・陸奥宗光と清国全権（ニ）との間で下関条約が結ばれた。日本はこの条約で巨額の賠償金を得て、これを軍備拡張や官営八幡製鉄所の設立などにあてるとともに、重工業を含めた産業の近代化に取り組んだ。日露戦争の頃には八幡製鉄所の生産が軌道にのり、鉄鋼、造船、鉄道、水力発電などに力が注がれた。しかし、日露戦争後も工業の中心は繊維産業をはじめとする軽工業であった。

繊維産業の労働者の大半は女性であった。これらの女性労働者は、多くが小作農など貧しい農家の出身であった。明治時代の農村では貨幣経済の浸透が進み、現金収入の必要性が増していた。地主は土地を集積し、その一部は農業以外の分野にも進出していったが、農民の生活は貧しかった。工場労働による賃金収入と農村の貧困は、多くの女性が工場に出稼ぎに出る原因であった。彼女たちは長時間労働などの過酷な労働条件や劣悪な作業環境の下で働き、結核などの病気になる者も多かった。

日清戦争前後から、甲府の雨宮製糸ストや大阪の天満紡績ストといった女性労働者たちによるストライキをはじめ、労働者による争議が生じ、社会主義思想や労働運動、農民運動が広がった。これに対し、⁷⁾政府は1900年、警察権の強化を図って（ホ）を制定した。

また、日露戦争後の不況期になると、政府は財政を引き締めるとともに、明治天皇に要請して（ヘ）を発し、勤儉節約を国民に求めた。さらに、農業の停滞や農村部の貧困に対応するため、（ト）を推進し、協同事業に成功した村を模範村として広く紹介するとともに、市町村の強化と地方産業の振興を図った。社会運動に対しては弾圧が進んだが、日本初の労働者保護法として（チ）が制定された。しかし、資本家の反対で施行は大幅に遅れた上、様々な抜け道もある不十分なものであった。

第一次世界大戦が勃発すると日本は好景気に沸き、欧州への軍需品、アジアへの綿織物、アメリカへの生糸などの輸出が増加した。特に欧州からの輸入が止まったことにより重化学工業も発達し、男性工場労働者も大きく増加した。また、第一次世界大戦を機に、中国への日本資本の進出が進んだ結果、同地における日本企業や日本人居留民も増加した。⁸⁾大戦景気の恩恵は社会の隅々にまで行き渡ったわけではなかった。海運業や造船業の隆盛で、短期間のうちに大金持ちになった者が出る一方、物価は上昇し、労働者や農民の生活は苦しかった。こうした中、米の安売りを求める米騒動が全国各地に広がっていった。

第一次世界大戦後、日本経済は度重なる恐慌に見舞われ、綿糸や生糸の相場も下落し、繊維工場も操業を短縮せざるを得ない状況に追い込まれた。山川菊栄は、伊藤野枝らとともに女性の労働する権利の獲得を目指して1921年に赤瀾会を結成し、¹⁰⁾社会主義の立場から女性運動を進めた。

昭和恐慌が始まると、アメリカ市場に頼っていた製糸業や絹織物業、養蚕農家は大きな¹¹⁾打撃を受けた。綿織物の輸出額は、1930年代初めにイギリスを抜いて世界一となったが、諸外国によるブロック経済圏の構築と高率の関税や輸入割当によって輸出が抑えられるようになった。こうしたなか、繊維産業で働く多くの女性が賃金の切り下げや失業を経験した。

繊維産業は幕末から産業化を牽引し、日本が近代国家を建設していく上で重要な役割を担ってきたが、その発展はこれらの女性労働者の労苦によるところが大きかった。

A. 文中の空所(イ)～(チ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～11) にそれぞれ対応する次の問 1～11 に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 海外からは綿糸、綿織物、毛織物などの繊維製品や武器、艦船といった軍需品が輸入された
- b. これを統制するため、幕府は生糸や水油などの 5 品を対象に五品江戸廻送令を発した
- c. 大量の銀が国外に流出し、物価の上昇によって庶民の生活は圧迫された
- d. 横浜港における最大の取引国は、イギリスだった

2. これに関連して、次の史料は 1872 年に出された布告の一部である（史料は一部改変してある）。この布告の名をしるせ。

……是レ上下ヲ平均シ人権ヲ齊一ニスル道ニシテ、則チ兵農ヲ合一ニスル基ナリ。是ニ於テ、士ハ従前ノ士ニ非ズ、民ハ従前ノ民ニアラズ、均シク皇国一般ノ民ニシテ国ニ報ズルノ道モ固ヨリ其別ナカルベシ。……人タルモノ固ヨリ心カヲ尽シ国ニ報ゼザルベカラズ。西人之ヲ称シテ血税ト云フ。其生血ヲ以テ国ニ報ズルノ謂ナリ。

3. この人物に関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 大蔵卿として日本銀行を設立した
- b. 国立銀行条例制定の中心となった
- c. 政府の保護を受け、佐賀の乱や台湾出兵の軍事輸送にあたった
- d. 飛脚に代わる全国均一料金制による郵便制度を建議した

4. これに関する次の文 i・ii について、その正誤の組合せとして正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- i. これらの大規模工場では国産紡績機械が用いられた
- ii. 1890 年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回った

- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
- c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

5. この戦争に関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 内村鑑三はキリスト教徒としてこの戦争に対して非戦論を唱えた
 - b. この戦争の軍事費のほとんどが非常特別税など国民の税金の負担によるものだった
 - c. この戦争の講和条約により、ロシアは韓国に対する日本の指導権を認めた
 - d. この戦争の講和の内容に不満を抱いた人びとは講和反対集会を開き、日比谷焼打ち事件を起こした
6. これに関連して、紡績工場で働く女性たちの労働と生活の実態について、細井和喜蔵が著した書物の題名をしるせ。
7. これに関連して、労働組合結成促進を目指して労働組合期成会を組織化し、労働運動の指導にあたった人物はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 木下尚江 b. 西光万吉 c. 堺利彦 d. 高野房太郎
8. これに関連して、国民革命軍による北伐が進む中で、日本人居留民の保護を名目とし、田中義一内閣が 3 度にわたって行なった軍事行動の名をしるせ。
9. これに関する次の文 i・ii について、その正誤の組合せとして正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 寺内正毅内閣はこの騒動の責任をとって総辞職し、原敬内閣が成立した
 - ii. 警察だけではこの騒動を鎮圧できなかったのに、各地に軍隊が出動した
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 - c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤
10. この人物は、関東大震災の時、憲兵隊により、ある無政府主義者と一緒に殺害された。この無政府主義者は誰か。その名をしるせ。
11. この時の首相で、財政緊縮と金輸出解禁を行ない、対中国関係の改善やロンドン海軍軍縮条約の調印に尽力した人物はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 犬養毅 b. 井上準之助 c. 浜口雄幸 d. 若槻礼次郎

【以下余白】

